

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 京都市学校歴史博物館の運営について

当館は、平成10年に日本で最初に64の学区制番組小学校を創設した京都の教育の歴史と、学校の創設・経営に尽くされた町衆の情熱を学校文化財や歴史資料によって明らかにし、後世に伝えることを目的として開設し、市民の生涯学習や子どもたちの学習活動に取り組んでいます。

### 学校歴史博物館の収入と支出

<学校歴史博物館の料金体系と入場者数>

有料の方：一般200円（団体160円）、小・中・高校生100円（団体80円）

無料の方：学齢に達しない方、身体障害者手帳等をお持ちの方 等

令和元年度の入場者数22,044人（うち有料17,693人、無料4,351人）

#### <支出>

利用者1人当たりの運営経費 5,150円  
(A)

総額 1.1 億円

管理 運営費 470円	展示 事業費 690円	職員人件費 3,990円
-------------------	-------------------	-----------------

#### <収入>

利用者1人当たりの  
収入 480円 (B)

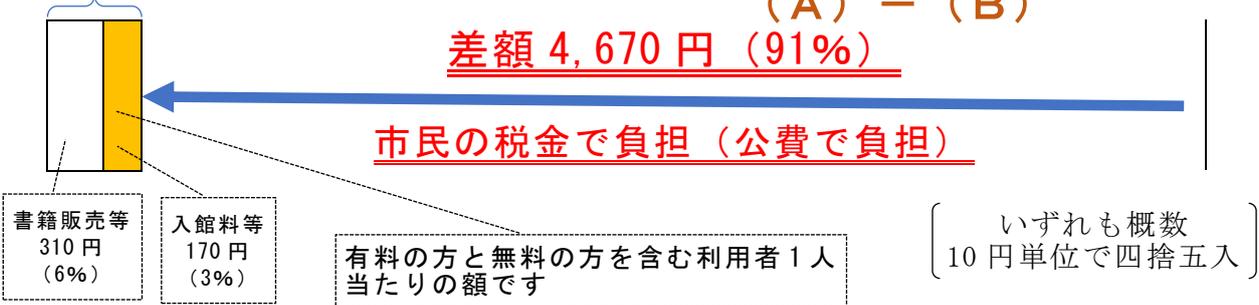
総額 1,053万円

総額 9,947万円

(A) - (B)

差額 4,670円 (91%)

市民の税金で負担（公費で負担）



- 公費負担がない場合の単純な試算を行うと、入場料は現行の24.2倍の額（例えば、大人料金200円→4,840円）が必要となります。
- 施設を利用しない方も含めた市民の負担（公費負担）により、現行の入場料で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担（市民の皆様にご負担いただく税金）などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。